

# 学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	国 語	実施学年	3 年	週時数	3 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

## 1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けるとともに、話し言葉を豊かにできる。</p> <p>(2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に書き表す能力を身に付けることができる。</p> <p>(3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けることができる。</p> <p>(4) 読書を生活に役立て、自己を向上させようとすることができる。</p>
使用教科書・副教材等	伝え合う言葉 3 (教育出版)、ワーク、便覧、ファイル マルカン (漢字学習) (正進社)、中学生の文法 (とうほう)

## 2 学習計画及び評価方法等<6月1日現在>

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	テスト範囲
第 1 学 期	6	長期休業中の課題の復習 「春に」  「立ってくる春」  「私」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩の技法について深める</li> <li>・ 表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。</li> <li>・ 場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。</li> </ul>		※单元ごとの自己評価シート プリント
	7	◆ 関係を生きる 「新しい博物学の時代」  ◆ 歴史をひらく 「無言館の青春」  ◆ 論理を問う 「歴史は失われた過去か」  ◆ 作文 「人権について考える」  ◆ 読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理の展開の仕方の特徴を捉え、内容の理解を深める。</li> <li>・ 物語によって提起されている問題について、自分の意見を文章にまとめる。</li> <li>・ 筆者の考えに対し、自分の考えを持つ。</li> <li>・ テーマに合った文章の形態や構成を選択し、自分の意見を書く。</li> <li>・ 目的に応じて本を読み、知識を広げたり、考えを深めたりする。</li> </ul>	作文用紙の使い方、書き言葉についても学習する。	定期テスト
	9	◆ 文化をつなぐ 「旅への思い」  「和歌の調べ」  「風景と心情」 ～漢詩を味わう～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おくのほそ道」の各場面の情景やそこに示されている心情を想像し、感想を話し合う。</li> <li>・ 歴史的背景などに注意して和歌を読み、リズムを味わい、技法を知る。</li> <li>・ 漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して暗唱する。語句の効</li> </ul>	冒頭部分暗誦。  三大和歌集の比較も行う 2年生の復習	
第 2 学					

期	10	「最後の一句」	果的な使い方、表現上の工夫に注意して読む。 ・近代の小説や物語を読む。 ・社会にでるにあたり、様々な言葉に触れて活用できるようになる。	も兼ねる。	定期テスト
	11				
	12	◆語りと向き合う 「初恋」	・表現上の工夫に注意して、暗唱する。		
第3学期	1	◆書く 「毛筆」	・「私」の抱いた「希望」とはどんなことか自分の意見をまとめる。	外部講師	定期テスト
	2	◆対話をひらく 「自分の作品集を作る」 「敬語の復習」 「文法の復習」その他 ○様々なジャンル 「受験対策」	・テーマを決めて、作品集を作る。  ・過去問題や総合問題を数多くこなす。作文にも多く取り組む。		
<p>学習の中に、適宜織り込む教材 「書く」「話す」の教材。第2部、補助の教材。他社の教科書の教材。聞き取り問題などの教材。</p>					

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び方法
関心・意欲・態度	授業への積極的な取り組みと、ノート、ワーク、ファイルなどの提出物、忘れ物の有無などから判断します。また、授業時の発言量も含みます。
話す・聞く	目的や場所に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしているかを、授業時の発言の量や内容で判断します。また、聞き取りテストや、「話す」の授業、授業時の発言内容も含みます。 ※今年度の話す聞く活動については、十分な配慮の上実施していきます。
書く	自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているかを、作文問題や「書く」授業、プリントやノートへ書いたもので判断します。夏休みの課題、テストの結果も含みます。
読む	目的に応じて、様々な文章を的確に読み取り、理解しているかを、主に定期テストから判断します。
言語・知識	表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけているかを、定期テストの漢字や文法問題で判断します。言語に関する小テストもここに含みます。

#### (2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A = 3点、B = 2点、C = 1点、評定不能 = 0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	15点
4	12～14点
3	9～11点
2	6～10点
1	5点以下